

2019年5月14日

輸送動向について（2019年4月分）

1. 輸送概況

4月のコンテナは、エコ関連物資が関東地区内の建設発生土が順調に推移したことから、積合せ貨物は関西・東北地区間を中心に鉄道へのシフトが進展したことから、前年を上回った。

一方、食料工業品は気温が低く推移した影響により、清涼飲料水、ビール等の需要が伸び悩んだことから低調な荷動きとなった。紙・パルプは、国内需要減少に加えて一部工場での設備不具合等の影響も重なり減送となった。また、農産品・青果物が北海道産生育不良に伴う在庫薄により低調に推移しているほか、自動車部品が一部自動車メーカーの販売不振の影響もあり、前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比95.2%となった。

車扱は、石油が4月に入り気温が低く推移したことから灯油を中心に需要が伸びたため、好調に推移した。車扱全体では前年比106.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比97.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	1,849	1,943	95.2%
車 扱	697	658	106.0%
合 計	2,547	2,601	97.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	144	154	-10	93.8%
	化学工業品	173	181	-8	95.5%
	化学薬品	120	125	-5	95.5%
	食料工業品	327	357	-30	91.6%
	紙・パルプ	221	245	-24	90.2%
	他工業品	125	132	-7	95.1%
	積合せ貨物	252	249	3	101.2%
	自動車部品	69	77	-8	89.6%
	家電・情報機器	35	36	-1	96.8%
	エコ関連物資	47	36	11	131.4%
	その他	335	350	-15	95.8%
	コンテナ計	1,849	1,943	-94	95.2%
車 扱	石 油	487	422	65	115.4%
	セメント・石灰石	95	108	-13	88.2%
	車 両	73	64	9	113.4%
	そ の 他	43	65	-22	66.5%
	車 扱 計	697	658	39	106.0%
合 計		2,547	2,601	-54	97.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)